

USA 学校 DANCE部フェスティバル 2021 演技規定



項目	内容
演技内容	<p>振付・演出・使用楽曲など、演技はすべての観客のために適切かつエンターテインメント性に富んでなければならない</p> <p>下記の内容に該当する、構成や振付は禁止とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 振り付けにおいて紛争や抗争をイメージさせる内容 ② 人を威嚇するジェスチャー ③ 不快感を与える演出やメイクアップ ④ 不適切な歌詞やスラングの入った楽曲 ※使用楽曲は事前に歌詞内容・訳詞内容が適切であるか確認をすること ⑤ 違法ダウンロードによる楽曲（音楽プロバイダーのサンプル楽曲含む）
衣装	<ul style="list-style-type: none"> ① 全ての衣装は安全でなければならない ② 衣装・メイクアップは、年齢に相応で全ての観客に対し適切であること ③ 靴下・タイツのみ、または床を傷つける恐れがある履物は禁止
手具・道具	<p>Pomの使用は不可。それ以外の使用は自由とするが、人を傷付ける恐れのある手具・道具は使用不可。</p> <p>また、複数の選手で手具や道具を共有することは禁止(手具の交換など)</p>
セーフティ	<ul style="list-style-type: none"> ① 安全性を考慮していない危険な行為は禁止 ② 怪我等の事情で、硬く曲がらない・表面に凹凸があるギブス・コルセットなどをする際は適切な素材でカバーすること 但し、硬いギブス(石膏やグラスファイバーなどの添木など)や、ウォーキングブーツを装着している出場者は、他の出場者を傷つけたり怪我を負わせる可能性のある振付けに参加することは不可 ③ 手に全体重をあずける動作は、何も持っていない状態で実施しなければならない（例外：前転・後転） ④ 立位・逆さの体勢やターンから、膝・腿・座位・うつぶせ・仰向け・スプリットポジションの姿勢になる場合は、少なくとも片手または片足に先に体重が乗るように行くこと ⑤ ジャンプ・空中から演技フロアへ着地する場合は、少なくとも片足に先に体重が乗るように行くこと 但し、ジャンプ・空中に浮いた際の手の位置が腰レベルより下の場合に限り、手（片手含む）からの着地が可能。後方への進入は不可。（ダブルシフトは実施可。シユシユバのバリエーションは全て禁止） ⑥ 演技中及び、演技の前後にカウントや掛け声をかけることは禁止
タンブリング 個人で実施するもの	<p>タンブリング（アクロバティック、体操的な技。フロア上から始まりフロア上で終わる個人で行えるもの）は、実施できるが推奨されない</p> <p><有効技>に限り実施可（以下①～③を遵守しなければならない）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 静止・歩行から実施可（走り込み・飛び込みからは不可 ※例外：ロングアート） ② タンブリングは単発・コンビネーションともに実施可 ③ タンブリングをしている選手の上や下を、タンブリングしながら通過・越えることは禁止 <p><有効技> 前転、後転、ショルダーロール、側転、チェストロールダウン、倒立、頭支持倒立、立ちブリッジ、前方/後方転回 ロングアート、キップアップ、ストール、ウインドミル、マカコ、スワイプス、トーマスフレア、側方宙返り※大学生のみ実施可 ※有効技については【補足】①参照 ※有効技は片手での実施も可 ※手具を持った手に全体重をあずける動作は、セーフティ違反になるので注意（前転・後転は持ったまま実施可）</p> <p><禁止技> 上記以外全て ※【補足】②参照</p>

【補足】

- ①有効技についての解説
- 【キップアップ】 仰向けから膝を曲げ、少し後ろに転んでから脚の反動で立ち上がる技（跳ね起き・ラバーハンドともいう）
 - 【ストール】 両手・片手で体を支えつつ、動きを停止するヒップホップ技（フリーズ）
 - 【ウインドミル】 背中と胸を使って回転し、体の周りをV字にした脚を旋回させる技
 - 【マカコ】 しゃがんだ状態から片手で行う、後方転回（アラビアンともいう）
 - 【スワイプス】 手を付くと同時に下半身をひねり、腰が宙に浮いた状態で旋回する技
 - 【トーマスフレア】両手で全身を支えながら両足を大きく開き、体を宙に浮かせながら旋回させる技

②タンブリング 有効技以外の全てのアクロバティック・体操的な技

禁止技 <例> 前方・後方倒立回転跳び、前方・後方宙返り、飛び込み前転、ヘッドスプリング、側方宙返り（大学生は実施可）など